

就キ多クノ調査ヲ要スルモノトス)

注入材ノ效果

くれをそゝと油注入材ハ海蟲侵蝕ニ對シ最モ效果アルモノナリトハ一般ニ確認セラル、所ニシテ實際之ヲ手宮室蘭二港ニ於ケル高架棧橋用材ヲ檢スルニ特別ノ故障アルモノヲ除キテハ建設後最早五年ニ達スルモ何等ノ被害ナク然ルニ杭木ニはんのき筋違材等ニまじつとまじつと不注入材ヲ使用シ明治四十二年ノ建設ニカ、ル室蘭高架棧橋ニ近接セル製鋼所棧橋用材ニ見ルニ比較的加害セラレサルはんのき杭木モ海水面以下全面ニりむのりあ侵蝕シ又多數ノてれど一穿孔シ時ニ筋違材ハ著シク加害セラレ波打際ニ於テ中斷セラル、モノ多々アリ又同所ニ於ケル明治四十一年建設ノ土止杭木(やちだもしらかんば等ノ樹種)モりむのりあノ侵蝕ニ依リ徑四寸乃至五寸大ノモノ波打際ニ於テ殆ント全部切斷セラル、ヲ見ル依之見之りむのりあノ不注入材侵蝕ハ一年少ナクモ一吋以上ヲ能ク嚙喰シ得ルモノニシテ當局高架棧橋ニ於ケルくれをそゝと油注入材ノ依然ナル状態ニ換ヘ如何ニ不注入材ノ僅々四、五年ニシテ全ク其用ニ耐ヘサルニ至ルカヲ明カニ立證シ得ルモノトス

尙ホ之ニ關シテ手宮高架棧橋防蝕材ニ不注入材數本著シク海蟲ニ侵蝕セラル、モノアルヲ以テ他日調査ノ上更ニ具體的報告ヲナスコトヲ得ヘシ(完)

内務省直轄工事

目下施工中ノ内務省直轄工事ハ河川十、砂防二、港灣一ニシテ同省直轄ノ下ニ東京、大阪、下關、新潟及仙臺ノ五土木出張所之レカ施工ノ任ニ當リ居レリト云フ左ニ工事ノ概要ヲ掲ク

一、利根川改修工事(東京土木出張所施工擔當)

本工事ハ明治三十三年度ノ創業ニシテ二十箇年繼續事業トシ總工費豫算額三千五百五十萬六千八百十七圓餘ヲ以テ群馬縣佐波郡芝根村以下海口千葉縣銚子町ニ至ル五十一里間及派川江戸川ヲ改修スルモノトス目下全區ニ亘リ施工中ナリ佐原取手間ハ專ラ浚渫船使用工事ニシテ上流ハ掘鑿機使用工事ヲ主トス

一、荒川改修工事(同上)

本工事ハ明治四十四年度ノ創業ニシテ十箇年繼續事業トシ工費豫算額千二百萬圓ヲ以テ左岸埼玉縣北足立郡川口町以下海ニ至ル間ヲ改修スルモノトス目下土地ノ收用土工機械等ノ準備ヲ了シ工事ニ着手セリ

一、渡良瀬川改修工事(同上)

本工事ハ明治四十三年度ノ創業ニシテ十四ヶ年繼續事業トシ工費豫算額七百五十萬圓ヲ以テ足利町以下ノ本川及支川秋山川、思川、巴波川ノ一部ヲ改修スルモノトス工事ハ初期ニ屬ス

一、富士川流域砂防工事(同上)

本工事ハ明治四十四年度以降施工シ來リ一ヶ年ノ工費額七萬五千圓ニシテ山梨縣下勝沼町附近日川筋ノ改良ヲ行フモノトス制水及浚渫ヲ主トス

一、淀川下流改修工事(大阪土木出張所施工擔當)

本工事ハ明治四十年度ノ創業ニシテ八ヶ年ノ繼續事業トシ總工費豫算額三百萬圓ヲ以テ大阪府下樟葉村以下海ニ至ル間ニ於テ低水工事ヲ施工スルモノトス目下工事ノ末期ニ屬ス

一、淀川流域砂防工事(同上)

本工事ハ明治十一年ヨリ引續キ毎年施行シ來リシカ四十年度ヨリ繼續事業トシテ毎年工費豫算

額三萬圓ノ豫算ヲ以テ施工シツツアリ施工區域ハ京都滋賀三重及奈良ノ一府三縣トス

一、九頭龍川改修工事(同上)

本工事ハ明治三十三年度ノ創業ニシテ當初ノ計畫ニ對スルモノハ同四十四年度ニ竣功セシカ支川日野川ノ改修ヲ追加シ總工費四百五十一萬二百十圓(内日野川改修ニ對スル追加額百萬圓)ヲ以テ大正五年度ニ至ル繼續事業トシテ施工シツツアリ

一、高梁川改修工事(同上)

本工事ハ明治四十年度ノ創業ニシテ十一ヶ年繼續事業トシテ工費豫算額四百七十八萬三千三百七十圓ヲ以テ岡山縣吉備郡淺尾村以下海ニ至ル間ヲ改修スルモノトス目下工事ノ盛期ナリ

一、吉野川改修工事(同上)

本工事ハ明治四十年度ノ創業ニシテ十五ヶ年繼續事業トシ工費豫算額八百萬圓ヲ以テ徳島縣下

阿波郡林村以下海ニ至ル間ヲ改修スルモノトス目下土地ノ買収ヲ了シ専ラ工事施工中ナリ

一、遠賀川改修工事(下關土木出張所施工擔當)

本工事ハ明治三十九年度ノ創業ニシテ十箇年繼續事業ニ屬シ工費豫算額四百三十九萬五千圓ヲ以テ福岡縣嘉穂郡笠松村以下海ニ至ル本川筋及支川泉河内川彦山川中元寺川犬鳴川ヲ改修スルモノトス目下工事ノ末期ニ屬ス

一、關門海峽改良工事(同上)

本工事ハ門司海峽事業ノ第一期工事ニシテ周防灘ヨリ六連島ニ通スル航路ノ改良ヲ爲シ併セテ下關及門司兩側ニ於テ泊地ノ擴張ヲ行フモノトス浚渫工事ヲ主トシ第一期工事ニ對シ千二百萬圓ヲ要スルノ豫定ニテ繼續事業トセスシテ施工中ナリ大正二年度迄事務費ヲ除キ工事ノミニ支出シタル費額二百五十餘萬圓ナリ

一、信濃川改修工事(新潟土木出張所施工擔當)
 本工事ハ明治四十年度ノ創業ニシテ十三箇年繼續事業トシ總工費豫算額金千三百萬圓ヲ以テ大河津放水路開鑿及河口ノ改修ヲ行フモノトス目下工事ノ全盛期ニ屬ス

一、北上川改修工事(仙臺土木出張所施工擔當)
 本工事ハ明治四十四年度ノ創業ニシテ十一ヶ年繼續事業トシ工費豫算額八百萬圓ヲ以テ宮城縣登米郡錦織村以下海ニ至ル間ヲ改修スルモノトス目下工事ノ初期ニ屬ス(完)

朝鮮ニ於ケル土木事業

由來朝鮮ニ於テハ道路ト謂ヒ港灣ト謂ヒ將タ又河川ト謂ヒ何等施設ノ見ルヘキモノナク只大自然力ニ放任シ全ク閑却セラレタリシ所明治三十九年朝鮮保護政治確立後一般土木事業ニ注意ヲ拂フニ至リ殊ニ總督府設立以來ハ着々其歩ヲ進メ尙ホ大正四年度ヨリハ河川ノ調査ヲナスヘク若干ノ豫算ヲ計上シタル等今ヤ其施設ノ見ルヘキモノ寡ナカラス最近ニ於ケル總督府直轄工事ノ概況ヲ記載スルニ左ノ如シ

一、道路改修

韓國時代ニ於テハ全國ノ道路殆ト全ク修理ノ實ナク統監府設置以後ニ於テ治道工事ヲ計畫セシモ其ノ延長僅ニ二百餘里ニシテ各道一部ノ交通ヲ便ナラシメタルニ過キス是ニ於テ併合後朝鮮總督府ニ於テ直接其ノ事業ヲ經營スルニ方リ先ツ全土ニ亘リ脈絡貫通スヘキ主要道路線總距離七百七十里ヲ選定シ之ヲ第一期計畫ト爲シ總工費一千萬圓ヲ以テ明治四十四年度以降六箇年ノ繼續事業トシテ之ニ着手シ既ニ竣工シタル道路三百二十七里尙ホ工事中ニ係ルモノ百二十八里